

今年も早いもので春彼岸の時節となりました。昨年は東日本大震災をはじめ台風などの自然災害により、多くの人々が被害に遭いました。大震災から一年が過ぎましたが、今なお多くの人々が普段の生活に戻れていません。

テレビのニュース番組で、大震災被災地の女性の方へのインタビューをしていました。「私は日々何気なく生活をしている中で、食事をする、買い物をする、寝るなど当たり前だと思っていましたが、突然、環境が変わり一つ一つの当たり前の事が全て無となり、生きているというだけで感謝する気持ちに変わっていました。」と。

私たちは無くしてから初めて気づくことが多くあります。しかし日々感謝をする気持ちを持続け生活していくと、自然と自分自身が変わっていくのではないでしょか。

お彼岸の季節になりますと「寒さ暑さも」とよく言われますが、季節の変わり目に春と秋のお彼岸を迎えます。自然に感謝し、生かされている事に感謝しご先祖さまに感謝をする事をあらためて見つめ直し考えてみてはどうでしょう。

彼岸とはお中日の前後六日間、日々の生活の中でお題目をお唱えし、布施・持戒・忍辱・精進・禪定・智恵の修行を心がけ、菩薩行を実践し一日一日生かされていくことに感謝しましょう。

